

予告チラシ

岡田 清香 ヴァイオリン & 園田 紘子 ピアノ
OKADA Sayaka SONODA Hiroko

デュオ・リサイタル



2023.2.25 (土) 14時開演 (13時開場)

小田原三の丸ホール 小ホール

ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ第5番「春」...他、ソロ曲など

入場料 (全席指定)

一般 2,500円

親子券1 2,500円 (保護者1名につき、子供 (3歳~12歳) 1名入場可)

親子券2 3,500円 (保護者1名につき、子供 (3歳~12歳) 2名入場可)
(親子券は三の丸ホールのみで販売)

チケット発売所

三の丸ホール Web販売、店頭販売 0465-20-4152

ハルネ小田原街かど案内所 (窓口販売のみ) 0465-23-1150

イープラス <http://eplus.jp>

主催 Rzp LLC

お問合せ ryouzanpaku703@icloud.com (代表 磯部)

岡田 清香【Violin】OKADA Sayaka

桐朋学園大学附属女子高等学校音楽科、カーティス音楽院(アメリカ)にて研鑽を積む。日本センチュリー交響楽団にて首席第2ヴァイオリン奏者を務める。また、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団の創立メンバーとしてフォアシュビラー(首席奏者)を務め、大阪フィルハーモニー交響楽団、神戸室内管弦楽団、大阪交響楽団、東京都交響楽団など多数客演。再度渡米しフォートワース交響楽団を経てサンアントニオ交響楽団に入団、18年間在籍。その間ソリストとしてサンアントニオ交響楽団と共演、「東日本大震災復興支援コンサート」においてもソリストを務め、収益は日本赤十字社へ寄付された。室内楽ではカメラータサンアントニオ、オフエリング、カクタスペア ミュージックフェスティバルなど多数客演。また、ヴィオラ奏者としても音楽祭に多数客演。現在は箱根に在住し、演奏活動のほか後進の指導にも力を入れている。「箱根アンサンブル」、室内楽コンサートシリーズ「箱根小さな森の音楽会」代表者。



園田 絃子【Piano】SONODA Hiroko

小田原市出身。神奈川県立西湘高等学校、武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業、同大学院音楽研究科博士前期課程修了。在学中、福井直秋記念奨学生に選出される。2011年に渡欧し、オーストリア・ウィーンにて5年半研鑽を積み、2016年グラーツ国立音楽大学ポストグラデュエート課程修了。イタリア、ロベルタ・ガリナリ国際ピアノコンクール特別賞、ドイツ、コッヘム国際ピアノサマーフェスティバル聴衆賞、ピアノ教育連盟ピアノオーディション奨励賞、PITINAピアノコンペティション東日本地区優秀賞受賞。かながわピアノコンクール入選。2013年より6回リサイタルを開催。これまでに阿部裕紀子、竹内典子、福井直昭、リサ・スミルノヴァ、池場文美の各氏に師事。現在、ソロや伴奏者としてさまざまな演奏活動を行なっている。日本演奏連盟、県音楽家協会会員。小田原短期大学非常勤講師。



演奏会へのいざない

園田絃子さんの演奏を最初に聴いたのは2019年6月、小田原かもめ図書館での演奏会でした。きれいなピアノの音が響き、文句のつけようがなかったのを覚えています。その後も機会あるごとに聴かせていただいておりますが、小田原三の丸ホールが出来て、演奏会を開催しやすくなったので、本日(9/11)開催、「園田絃子ピアノリサイタル」の次を計画しました。園田絃子さんから、お知り合いのヴァイオリニスト岡田清香さんに声をかけていただき、来年の2月にデュオ・リサイタルを開催することになりました。人は、音楽を初めて聴いた時、楽器というのは何と素晴らしい音を出すものだろうと思います。その楽器が旋律を奏でていくにつれ、何といい曲だろうとまた思います。作曲家が工夫をこらし、時間をかけて一曲を終曲に導きます。だれかと一緒に聴いていた場合、「よかったね」と感想を述べ合い、何か食べて行こうということになります。「あの時、同じ花を見て、美しいと言った二人の心と心が今ももうかよわない」という歌がありますが、これは失恋の歌。演奏会とは、お客様同士が同じ曲を聴いて、「よかったね」という機会を提供するものです。お客様の負担にならない範囲での料金を設定し、演奏家が、これをお客様に聴いて欲しいという曲を全力で披露します。演奏家はいくばくかの収入を得、次の演奏会に向けて励みます。この経済の循環が、闊達な世の中を作ります。来年2月のデュオ・リサイタルへのお越しをお待ちしております。

Rzp LLC 代表 磯部